



安全データシート

1.化学品及び会社情報

| | |
|--------------|--------------------|
| 化学物品等の名称 | メチルホルムアニリド |
| 製品コード | MFA |
| 会社名 | 株式会社 三星化学研究所 |
| 住所 | 京都市北区上賀茂北ノ原町 14 番地 |
| 担当部門 | 開発・技術部 |
| 電話番号 | 075-781-1177 |
| FAX 番号 | 075-701-7227 |
| 緊急連絡電話番号 | 075-781-1177 |
| 推奨用途及び使用上の制限 | 医薬、有機合成原料 |

2.危険有害性の要約

| | |
|----------------------------|--------------|
| 物理化学的危険性 | 該当区分なし。 |
| 健康に対する有害性 | |
| 急性毒性（経口） | 区分 4 |
| 皮膚感作性 | 区分 1 |
| ※他の健康有害性に関しては情報がなく、分類できない。 | |
| 環境に対する有害性 | 情報がなく分類できない。 |

GHS ラベル要素

絵表示（ピクトグラム）

注意喚起語
危険有害性情報警告
飲み込むと有害
アレルギー皮膚反応を起こすおそれ注意書き
安全対策

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面/を着用すること。

応急措置

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

廃棄

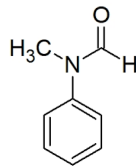
内容物/容器を都道府県/市町村の規則にしたがって、適切に廃棄すること。

他の危険有害性

3.組成及び成分情報

| | |
|-------------|---|
| 化学物質・混合物の区別 | 化学物質 |
| 化学名又は一般名 | N-Methylformanilide |
| 別名 | N-methyl-N-phenylformamide |
| 組成物質 | N-methylformanilide |
| 濃度又は濃度範囲 | 99.0%以上 |
| 分子式 (分子量) | C ₈ H ₉ NO (135.17) |

化学特性 (構造式)



[HCO(H₃C-)N-]C₆H₅

CAS 登録番号 (CAS RN)

93-61-8

官報公示整理番号 (化審法)

(3)-111

官報公示整理番号 (安衛法)

昭和 54 年 6 月 29 日までに化審法の規定により
公示された化学物質

4-(7)-1868

化管法指定化学物質の種別

該当しない。

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

なし。

4.応急措置

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移すこと。気分が悪い時は医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

多量の水と洗剤で洗浄すること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合は外して洗うこと。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

気分が悪い時は医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

適切な保護具を着用すること (8.ばく露防止及び保護措置を参照)。

5.火災時の措置

適切な消火剤

粉末, 泡, 水噴霧, 二酸化炭素

使ってはならない消火剤

棒状水

火災時の特有の危険有害性

熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。

特有の消火方法

利用可能な情報はなし。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

適切な保護具を着用する。(8.ばく露防止及び保護措置を参照)

環境に対する注意事項

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

ウエス、乾燥砂、土、おがくずなどに吸収させて回収する。

二次災害の防止策

大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

火気厳禁。 局所排気装置を使用すること。

| | |
|-----------|--|
| 安全取扱い注意事項 | 静電気放電(有機物の蒸気を引火させうる)を避けるために必要な措置をとる。 |
| 接触回避 | 高温物、スパークを避け、強酸化剤との接触を避ける。 |
| 衛生対策 | 使用後は容器を密閉する。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではない。 |
| 保管 | |
| 安全な保管条件 | 容器は遮光し、換気の良いなるべく涼しい場所に密閉して保管する。 |
| 安全な容器包装材料 | 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。 |

8.ばく露防止及び保護措置

| | |
|----------------|---|
| 管理濃度 | 設定されていない。 |
| 許容濃度 | |
| 日本産衛学会（2022年版） | 設定されていない。 |
| ACGIH（2022年版） | 設定されていない。 |
| 設備対策 | 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。 |
| 保護具 | |
| 呼吸用保護具 | 保護マスク |
| 手の保護具 | 保護手袋 |
| 眼、顔面の保護具 | 保護眼鏡。状況に応じ保護面。 |
| 皮膚及び身体の保護具 | 保護衣。状況に応じ、保護長靴。 |

9.物理的及び化学的性質

| | |
|------------------------|-------------------------------|
| 物理的状态 | |
| 物理状态 | 液体 |
| 色 | うす黄色 |
| 臭い | 特有の臭気 |
| 融点・凝固点 | 11-13°C (GESTIS 2022) |
| 沸点又は初留点及び沸点範囲 | 243-244°C (GESTIS 2022) |
| 可燃性 | 情報なし。 |
| 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 | 情報なし。 |
| 引火点 | 132°C (弊社データ、クリーブランド開放式) |
| 自然発火点 | 情報なし。 |
| 分解温度 | 情報なし。 |
| pH | 3.5-5.5 (20°C、飽和水溶液) |
| 動粘性率 | 情報なし |
| 溶解度 | 10.3 g/L (25°C) (GESTIS 2022) |
| n-オクタノール／水分配係数 (log 値) | 1.09 (GESTIS 2022) |
| 蒸気圧 | 2.66 Pa(GESTIS 2022) |

| | |
|-------------|----------------------------|
| 密度及び／又は相対密度 | 1.095 (20°C) (GESTIS 2022) |
| 相対ガス密度 | 4.65 |
| 粒子特性 | 情報なし。 |
| その他データ | 特になし。 |

10.安定性及び反応性

| | |
|------------|-----------------------------------|
| 反応性 | アルカリ水溶液と接触すると分解してギ酸塩とメチルアニリンを生ずる。 |
| 化学的安定性 | 適切な条件下では安定。 |
| 危険有害反応可能性 | 特別な反応は報告されていない。 |
| 避けるべき条件 | 酸化剤との接触。 |
| 混触危険物質 | 酸化剤 |
| 危険有害な分解生成物 | 酸化炭素、一酸化炭素、窒素酸化物 |

11.有害性情報

| | |
|------------------|------------------------------------|
| 急性毒性（経口） | EU 域内では区分 4 に分類されている。(ECHA データベース) |
| 急性毒性（経皮） | 情報なし。 |
| 急性毒性（吸入：気体） | 情報なし。 |
| 急性毒性（吸入：蒸気） | 情報なし。 |
| 急性毒性（吸入：粉じん、ミスト） | 情報なし。 |
| 皮膚腐食性／刺激性 | 情報なし。 |
| 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 | 情報なし。 |
| 呼吸器感作性 | 情報なし。 |
| 皮膚感作性 | EU 域内では区分 1 に分類されている。(ECHA データベース) |
| 生殖細胞変異原性 | 情報なし。 |
| 発がん性 | 情報なし。 |
| 生殖毒性 | 情報なし。 |
| 生殖毒性・授乳影響 | 情報なし。 |
| 特定標的臓器毒性（単回ばく露） | 情報なし。 |
| 特定標的臓器毒性（反復ばく露） | 情報なし。 |
| 誤えん有害性 | 情報なし。 |

12.環境影響情報

| | |
|----------------|-------|
| 生態毒性 | |
| 水生環境有害性（短期/急性） | 情報なし。 |
| 水生環境有害性（長期/慢性） | 情報なし。 |
| 残留性・分解性 | 情報なし。 |
| 生態蓄積性 | 情報なし。 |
| 土壤中の移動性 | 情報なし。 |
| オゾン層への有害性 | 情報なし。 |

13.廃棄上の注意

| | |
|----------|---|
| 残余廃棄物 | 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。 |
| 汚染容器及び包装 | 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規 |

並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。

14.輸送上の注意

| | |
|----------------------|---------------------------------|
| 国際規制 | |
| 国連番号 | 設定されていない。 |
| 品名（国連輸送名） | 設定されていない。 |
| 国連分類（輸送における危険有害性クラス） | 設定されていない。 |
| 国内規制 | |
| 海上規制情報 | 船舶安全法に基づく危険物船舶運送及び貯蔵規則（危規則）に従う。 |
| 航空規制情報 | IATA 航空危険物規則書に従う。 |
| 陸上規制情報 | 消防法の規定に従う。 |
| その他（一般的）注意 | 特になし。 |

15.適用法令

| | |
|-----|----------------|
| 消防法 | 第4類 第三石油類 非水溶性 |
|-----|----------------|

16.その他の情報

引用元は括弧書きでデータの横に記した。

<記載内容について>

記載内容については現時点で入手した資料に基づいて作成しておりますが、記載のデータ及び評価については必ずしも十分ではありませんので、取扱には注意してください。なお、注意事項については通常の取扱いを対象にしたものですので、特別な取扱いをする場合には、さらに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱願います。